

## 講師・団体等プロフィール（略歴）

### 福田 充 氏（日本大学危機管理学部 教授）

東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。博士（政治学）。専門は危機管理学、リスクコミュニケーション。日本大学法学部教授等を経て2016年より現職。内閣官房新型インフルエンザ等対策有識者会議委員、コロンビア大学戦争と平和研究所客員研究員などを歴任。著書に『メディアとテロリズム』（新潮新書）、『テロとインテリジェンス～覇権国家アメリカのジレンマ』（慶應義塾大学出版会）、『リスクコミュニケーションとメディア』（北樹出版）、『大震災とメディア～東日本大地震の教訓』（北樹出版）など多数。

### 東都生活協同組合 専務理事 野地 浩和 氏

当団体は、1973年に設立。消費と生産を結ぶ「産直」（産地直結）を基軸とした事業と活動を進めている。食の安心を次世代へ継承する「食の未来づくり運動」を提起。交流・訪問2万人運動や産直・国産商品の利用促進、商品づくりへの参画など、生産者との交流・共同を通じ、持続可能な社会に 向けて組合員が主体的に食とくらしに向き合い、食卓から日本の農業を応援する行動を進めている。また、震災、台風被害においては募金活動、被災地支援派遣活動などの取組も行っている。

### 一般社団法人危機管理教育研究所 理事長 国崎 信江 氏

当団体は、生活者の視点で20年間防災を研究し、被災地支援の活動を通して、独自の視点で防災対策を提唱している。また、防犯や生活上の事故など生活に潜む危険から身を守るための方法など、実践的な危機管理対策を提案し、防災教育にも力を入れている。

同氏は、危機管理アドバイザーとして、リスクマネジメントのコンサルティングを行うほか、講演、執筆、テレビやラジオの出演など多方面で活躍。また、内閣府の防災スペシャリスト養成企画検討会、東京都の震災復興検討会議などの委員も務める。